

フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ



特集

新型コロナウイルス感染症拡大防止で地域でおこっていること 3



よこすかながやのお弁当配布

24時間365日の居場所を目指す「よこすかながや」では、3月5日から月～金で子どものお弁当を作って渡している。無料。代表の和田信一さんが臨時休校発表後すぐに校長先生、教育委員会に掛け合い、閉鎖中の池上コミュニティプラザの調理室の使用、広報などの協力を得た。フードバンクかながわでは緊急事態宣言後の4月10日に訪問。その日は74食分のキーマカレー弁当がボランティアさんにより用意されていた。ボランティアさんは13名の登録があり、交代で対応。ボランティアさんの安全も最優先と和田さんは考え、5月1日までを区切りとして考えている。計2579食の「愛情あるお弁当」を作り提供したという。最後日、マスクサンタさんからのこども用マスクもお届けした。



5月は、自宅療養のコロナ感染者の買い物代行を横須賀市民活動サポートセンター、スーパー、市民団体とのコラボで行う予定。

すべて敬称略となっていることをご確認ください。

子ども食堂から食品配布へ

地域で切れ目のない家庭支援を目指す保土ヶ谷区「NPO法人ちゃっと」、学習支援の中区「満腹うへのまち子ども食堂」では、子ども食堂の開催ができないなかで、食品の配布を行う。5/8ちゃっとの食料品提供は子ども優先で100個を予定。

学生支援

アルバイトができない、生活費やインターネット環境が厳しい学生への支援が必要となり、横須賀市地域福祉課・フードバンク・県立保健福祉大学等の連携により、3日分食品セット、サンマの缶詰、クラッカー、お菓子など60名分の学生向けの食品提供を行った。



北見横須賀市福祉専門官

湘南国際村センターへの支援

はやま食卓プロジェクトは湘南国際村センターに滞在するコロナ軽症者への支援として、フードバンクを活用し、オレンジジュース、菓子、缶詰類50人分を届けた。



地域で活動するフードバンク NPO法人ワンエイド

緊急事態宣言後の休校・外出自粛で、食品の取り扱いが増加。母子家庭・高齢者家庭にとっては経済的問題だけではなく、情報が取れずマスクが手にはいらないなどの生活課題も起きている。危機に対する対応力が弱い人々をどう支えるか。ボランティアの安全維持も必須。フードバンク活動をやめると食に困る人ばかり。その板ばさみに悩む。リーダー2名になっても、活動は継続する覚悟だ。

いまは市民や団体・企業は活動・事業の自粛（自分の身を守る）で、行政だけが前に出ているが、市民活動も感染リスクを下げる対策は行いつつ、できる限りのことをやる必要があると語る。

鎌倉紅谷

新型コロナに立ち向かう医療従事者を応援する

医師・看護師をはじめとする医療従事者の方々に応援しようと、鎌倉紅谷から寄贈されたクルミっ子などのお菓子を病院へお届けし大変喜ばれた。応援・感謝の気持ちはあっても県内の医療機関のどこに・誰に届けたらいいのかと悩むところ。フードバンクかながわの構成団体には、医療生協、JA協同病院、自治労などにつながりがありスピーディに取り組めた。

JA伊勢原協同病院/相模原協同病院/横浜市大病院/市大付属市民総合医療センター/川崎医療生協/神奈川みなみ医療生協/医療生協かながわ/神奈川北央医療生協/日本鋼管病院川崎/川崎市立病院 (5/1) の7710名の方々に、感謝/応援の気持ちと併せてクルミっ子をお届けした。



(株)鎌倉紅谷・寺平本部長、河口本部長

社協の食支援

泉区社協では3月に始まった社協の緊急小口資金特例貸付申請窓口や生活支援課相談で食支援が必要な人が通常の約3倍に増えている。窓口で保管している緊急用食品がなくなるのが早いと感じる。民生委員の活動も縮小しているが、地域の困難者情報は連絡があり次第対応しているという。

川崎市社協は、地域の団体に呼びかけ、外国につながる世帯、シングルマザー世帯など支援の必要な世帯を食品をもち訪問する活動を組み立てている。3月から休校措置に併せて、食をとれていない世帯の食料支援を行ってきたが、取り組みの延長と食品を持っての訪問を行う。緊急事態宣言で食品の在庫が少なくなっている。特に米が必要という。

かながわ生き生き市民基金の緊急助成プログラムと2次への寄付募集

フードバンクかながわ構成団体・(公財)かながわ生き生き市民基金は、「新型コロナ対応緊急応援助成」プログラムを実施。行政施策を待つだけではなく、市民が地域のニーズに合わせて実践する支援活動を応援する。29団体から応募があった。(うち16団体がフードバンク登録団体)

この助成金は市民の寄付300万円を原資としており、第2期実施のためのさらなる寄付を募集中。http://lively-citizens-fund.org/



お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわ info@fb-kanagawa.com

236-0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45 発行責任：藤田 誠
Tel 045-349-5803

基本情報 2020年度の累計 (2020/4/30現在)

寄贈された食品 12.5トン	提供した食品 175回 11.6トン
企業等 31回 12.0トン	行政・社協 41回 2289kg
フードドライブ 32回 0.5トン	地域のフードバンク 33回 4058kg
	子ども食堂等 64回 3129kg
	施設 4回 256kg
	福祉関係 21回 953kg
	コロナ対応医療 9回 883kg

合意書締結団体	
寄贈締結団体	90団体
提供締結団体	161団体
行政・社協	45団体
市民団体	116団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係含む)	

賛助会員寄付状況	
設立以来の累計	
団体会員	118団体 486口 486万円
個人会員	207人 760口 760千円
寄付金累計	11,646,443円

(2019年度実績 寄贈97トン28万点・提供92トン27万点 寄付金11,612,313円)

新型コロナ危機の中で2020年度が始まりました！

○臨時休校等により生じた食品の有効活用促進のため、農水省のフードバンク活用促進対策による情報提供を活用し、4月は3件4トンの寄贈を受けた。また生活困窮者支援のために、セブンイレブンから県社協を通してサンマ缶詰14400個が寄贈された。5月にも2回寄贈がある予定。
○イトーヨーカドー、パルシステムのフードドライブが延期になる中、個人から宅配・持ち込み品が30件と約3倍に増えた。

☆雇用不安・休校により行政・社協・地域のフードバンク・子ども食堂等への提供が引き続き増加。特に米のニーズが倍増し在庫がなくなる時期が生じている。幸いミツハシライス株、ユーコープからの米寄贈は続いており、大変力強い。
☆販売自粛中の(株)鎌倉紅谷から提供のクルミツ子等は、コロナに立ち向かう9病院の医療従事者に提供した。5月1日には国際村軽度者滞在施設、高齢者施設にも提供。
☆開催できなくなった子ども食堂・居場所・学習支援団体は、お弁当、食品配布を行う39団体に64回提供した。

イベント中止による寄贈

株ツクイは50周年イベントで配布予定の特別仕様ハイチューを寄贈。横浜マリノスのゲーム中止の影響。

コカ・コーラから飲料類、日本農産工業株から卵スープ



すべて敬称略となっていることをご確認ください。

セブンイレブンからセブンプレミアムの提供

県社協を通じてセブンプレミアムから様々な食品が寄贈されています。カルパス、缶詰43,200缶6トン以上を寄贈



今月のメッセージ

理事 阿部 嘉弘さん

(前・かながわ勤労者ボランティアネットワーク事務局長、連合神奈川 副事務局長)



4月7日の緊急事態宣言以降、徹底した自粛要請が続いています。一斉休校に端を発した休業要請は、雇用の環境を不安定に一変させ、生活が困難な世帯にはとりわけ厳しい現実を突きつけました。感染の拡大が自分や家族の周りに近づく健康への不安と、雇用や収入の経済的不安がピークを迎えている今、共助の活動に向けられる期待が高まっています。
私たちVネットも、東日本大震災の直後には「行動する」という「共助」を呼び掛けたものですが、今回は様変わりです。見えないウイルスを相手にした行動変容。長引く不安は不満となって、いつもより批判的な心が芽生えていませんか？
今は、「自助」も「共助」も「行動しない」ということ。イベント会場などのフードドライブもちょっと我慢。難局を支え、乗り越えるための一助として、今こそフードバンク事業の責任と可能性を見つめなおし、多くの賛同者を受け止めたいですね。

農水省仲介

給食用の牛乳

休校により給食用牛乳が余剰となり、全農はロングライフ牛乳200ml (賞味期限約2か月) にして農水省経由で提供する。5月半ばから取り組み予定。

機内提供品

飛行機の便数が減り、提供できない機内飲み物・おつまみをデルタ航空が提供

イベント中止

合同会社rakusouより特別仕様のラムネ(飲料)750本を寄贈。

公益社団フードバンクかながわ事務局様
コロナウイルス感染症対策未利用食品寄附分



マスク・サンタ！

シングルマザー・ホームレス・子どもたちへマスク

マスク不足の中、手作りマスク30枚がフードバンクに届いた。構成団体JAの若手職員の手作りマスク。NPO法人ワンエイドからシングルマザーの方たちが困っているという情報を得ており早速お送りした。続いて50枚のマスクが届き、カネキリスト教会を通じてホームレスの方々や支援の方々、子ども支援関係者にお届け。さらに一つ一つに手書きのメッセージを入れて子ども向けマスク50枚が届いた。こども食堂よこすかながやさんに届けた。
マスクサンタさんに感謝！！

